

今週（2月20日から2月24日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間が始まったばかりであったものの、無担保コールO/N物は週後半にかけて徐々に強含む展開となった。日銀当座預金残高は320兆円後半での推移となった。

無担保コールO/N物加重平均レートは週初20日こそ▲0.046%と先週末比で大きな変動が見られなかったが、21日には調達サイドがやや強含む▲0.042%、22日にはレートを切り上げての調達する先が一部に見られ、▲0.03%台に上昇。23日には大手行の一部で▲0.02%台をデイクンする地合いとなった。週末の24日も地合いは変わらなかった。出合いのレンジは、週を通して地銀の試し取りが行われていたこともあり、上限は0.001%、下限は▲0.10%となった。ターム物は地銀の調達と証券のロール案件を中心に1W～1Mの出合いが見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは23日に2W物で8,000億円がオファーされ、結果は1,370億円と札割れとなり、期落ち額1,430億円を若干下回った。

●レボ市場

今週のO/N GCは、▲0.095～▲0.085%程度での取引が中心となった。週を通して投資家の資金調達意欲は薄かったものの、業者のTDB在庫が残っていたことで、業者の売りを中心に出合いが見られた。24日のS/N(28-3/1)は月末初の取引となり、警戒感から売りが引いたところに業者の買いが入り、▲0.13～▲0.12%程度での出合いとなった。

SCは個別銘柄では5y125～130、10y336～345、30y48～53、40y9などのカレント銘柄近辺にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は、全般的に閑散としている中、週を通して堅調な推移となった。

23日には3M物の入札が実施された。WI取引で▲0.265～▲0.25%の出合いが見られる中、結果は平均落札利回▲0.2593%、按分落札利回▲0.2505%と、事前予想より強めの決着となった。セカンダリーでは▲0.31～▲0.30%と更に強い水準で推移した。

24日には、朝方から店頭での買いが広く入る中、短国買入オペが5,000億円でオファーされた。結果は、平均利回較差+0.031%、按分利回り較差0.028%と特定の銘柄を中心に落札されたと思われる水準となった。

2月中の短国買入オペの合計オファー額は4兆円となったことで、2月末の日銀の短国買入残高は36兆3,540億円となることが見込まれ、1月末に日本銀行が示した36～38兆円程度の残高見込みのほぼ下限となった。

●CP市場

今週のCP市場は、月末発行を中心に、建設・鉄鋼・石油・ノンバンクなどの幅広い業態から発行が行われたことで、週間発行総額は16,500億円程度に膨らんだ。発行残高も16兆円台を回復したものの、ディーラーの買い意欲は強く、発行レートは引き続き0%近辺で推移している。また、発行の少ない期末越の銘柄に対しては、マイナスレートでの決着も散見された。

23日には、CP等買入オペが前回と同額の3,000億円で実施された。直近では4回連続で按分レートが▲0.001%となっていたものの、前回の応札が5,000億円強にとどまるなど、ディーラーの売り意欲が減退しつつある中での実施となった。金利低下が期待される中、結果は平均落札レート▲0.001%、最低落札レート▲0.003%と前回より僅かに低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/20（月）	19,251.08	0.090	112.88	△ 0.046	△ 0.084	3,275,200
2/21（火）	19,381.44	0.090	113.50	△ 0.042	△ 0.087	3,292,700
2/22（水）	19,379.87	0.080	113.58	△ 0.036	△ 0.086	3,290,900
2/23（木）	19,371.46	0.074	113.36	△ 0.032	△ 0.090	3,283,400
2/24（金）	19,283.54	0.060	112.85	△ 0.033	△ 0.088	3,293,100

来週（2月28日から3月3日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/27 (月)					1月の米耐久財新規受注
2/28 (火)	1月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 1月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 23,000億円 3/15発行			10-12月期の米GDP改定値 12月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 2月の米CB消費者信頼感指数 2月のシカゴPM景況感指数
3/1 (水)	徳島県金融経済懇談会にて佐藤審議委員講演 10-12月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	交付税借入 10,500億円 3/9借入			米ページブック 1月の米個人所得・消費支出 1月の米建設支出 2月のISM 製造業景況指数
3/2 (木)	2月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	TB3M 44,000億円 3/6発行	10Y 24,000億円 3/21発行		2月のユーロ圏消費者物価指数速報値
3/3 (金)	1月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 1月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 1月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月都区部・1月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 3月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00)				2月のISM 非製造業景況指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/27 (月)	▲ 400	▲ 14,100	▲ 14,500	全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,400 ▲ 200 200 300	1,400 200 	300	▲ 14,200	TB3M発行▲44000償還42300 20Y発行▲11000 国有林野借入▲900償還800
2/28 (火)	300	6,300	6,600	国債買入 短国買入 CP買入	 3,000	7,700 5,000 3,000	15,700	22,300	交付税借入▲10500期日10500
3/1 (水)	0	▲ 10,000	▲ 10,000				0	▲ 10,000	財政融資資金の回収 税・保険料揚げの前倒し
3/2 (木)	▲ 1,000	▲ 47,000	▲ 48,000				0	▲ 48,000	税・保険料揚げ 交付税借入▲10500期日10500
3/3 (金)	0	6,000	6,000	成長基盤		▲ 800	▲ 800	5,200	
週間合計	▲ 1,100	▲ 58,800	▲ 59,900	—	▲ 1,300	16,500	15,200	▲ 44,700	

2/27は日銀予想、2/28以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、3月初頭の財政融資資金の回収や税・保険料揚げに伴って大幅な資金不足日が続く予想される。積み期間の後半に入り、無担保コールO/N加重平均レートが、引き続き高めで推移するかどうか注目される。
短国市場は、2日に3M物の入札が予定されている。海外勢の買いが継続するかどうか注目される。
CP市場は、月初にあたるため、落ち着いた発行市場になると見込まれる。

主要なイベントとしては、国内では3日の1月の全国CPIが挙げられる。海外では28日の10-12月期の米GDP改訂値、1日のページブック、2日の2月のユーロ圏CPI速報値などが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入